



落合 康之 議員

県立文化ホールの誘致について

問 針谷市長の選挙公約には「文化センターは、市民の声を聴いて推進する」とある。県立の文化ホール誘致はいかがか。
①古河市民および古河市の法人が県に納める税金の額。②県から古河市に支出される金額。③古河市内の県の施設数。④合併特例債の残額 118 億円で先導的プロジェクトを全て行うことは可能か。⑤市長は市民からの要望が上げれば県庁へ赴くのか。

答（市長） 県立文化ホールの誘致も手段の一つとして考えている。⑤市民の声を最大限尊重して頑張ってまいりたい。

答（財政部長） ①市民および法人が県に納めている税金は 52 億 2,000 万円、②県からの各種交付金は 25 億 1,300 万円。③市内の県施設数は 17 施設である。④特例債の残額の範囲で全てを行うことは厳しいと考えている。

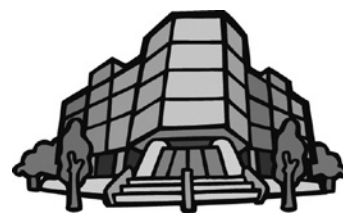
再質問 特例債の残額で全部のプロジェクトを行うことはできない。夏の知事選挙を利用し、公約に入れていただく。財源も政治的トラブルもなく進められるかどうか。

答（市長） 知事選挙の立候補予定者に、文化ホールを公約に掲

げてもらうよう話はさせていただきたい。

再々質問 針谷市長は知事選挙も絡めて県立文化センター建設誘致活動をしていただけるか。

答（市長） 県に誘致をお願いする動きをしたいと思う。また、古河市選挙区選出の県議会議員の皆さんにも話をしたい。



《その他の質問》

- ・保育認定の在り方について
- ・空き家対策について



秋庭 繁 議員

急がれる高齢者の要望実現へ

問 身近なスーパーの閉店等で困ってるお年寄りが、新鮮な魚や肉を直接買いたいという要望がある。お年寄りのお買物の足を確保できないか。また、防災行政無線が聞こえないという声がある。栗橋（久喜市）や大利根（加須市）のが聞こえて、なぜ古河市のが聞こえないのか。

答（市長） お年寄りの買い物での交通手段の確保については、

商工会議所、商工会を通して要望の働きかけをしていきたい。

答（生活安全部長） 防災行政無線は環境や気象条件等により聞き取りにくい場合がある。聞き逃した場合のため、電話自動応答装置を整備した。他にもエリアメール、市ホームページ等を活用し情報提供に努めたい。

産業廃棄物の不法投棄について

問 市内の農地や山林に産業廃棄物の不法投棄が相次いでいる。初期対応に問題がなかったのか。県や警察と連携して、悪質な違反は告発すべきである。市道の破損にも損害賠償請求を。

答（市長） 産業廃棄物の不法投棄については今後も国、県に働

きかけ、各関係機関との連携を強く持っていきたい。スピード感を持って対応したい。

答（生活安全部長） 不法投棄する悪質業者への告発については、茨城県や警察と連携をとって協議し、対応していきたい。

答（都市建設部長） 道路損壊については、関係部署と連携し事業施工者の聞き取り等により行為の特定に努め、原形復旧を指導していきたい。



市内（下辺見）に不法投棄された産業廃棄物